

令和6年6月20日

関係各位

北海道バドミントン協会  
理事長 下野和義

## 中学大会シード基準の改訂について

日頃より本会の事業に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度から今年度にかけて、競技委員会（主に中学担当競技委員＝中体連関係者含む）および常任理事会において中学大会（ジュニア新人大会・中学新人大会）シード基準について、時代の変化に対応すべく様々な角度から協議・検討を重ねて参りました。

### 【改訂ポイント】

- ①ジュニア新人大会 ～ シード基準最優先条件を直近大会結果とすること、ジュニアナショナルU13選手（U16～全国推薦のため道予選は不参加）の配置位置、等に着眼しシード優先順位の見直しを図りました。
- ②中学新人大会 ～ シード基準最優先条件を直近大会結果とすること、全国大会（全日本ジュニア新人大会・全国中体連大会）出場者の中における好成績者結果を反映させること、ジュニアナショナルU16選手の配置位置、等に着眼しシード優先順位の見直しを図りました。※団体戦～外部指導者によるクラブチームの新規参入等による見直し。

以上のことから、年度途中ではありますが、今年8月開催の全日本ジュニア新人大会道予選、来年1月開催の中学新人大会道予選は、改訂シード基準を適用し運営を進めて参りますので、ご理解いただくとともにご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

**※改訂シード基準については、令和6年7月1日付で適用開始とします。（別紙参照）**

**※道協会HPにおいても掲載いたします。**